

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	建物火災(車庫)の残火処理中における事故
3. 体験した事例の中心的要素	建物火災(車庫)の残火処理中収容物を他の隊員と協力し屋外に排出していたところ、一斗缶に入っていた排油が吹き出し顔面を負傷したもの
4. 体験した事例の原因・理由	1. 隊員間の意思の疎通の欠如 2. 建物用途別による危険情報の把握及び予見の欠如 3. 危険を予見した防護処置の欠如

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成13年某月某日 午後
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：車庫から3mくらい離れた場所
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	高温・低温物と接触、火傷・熱傷
7. 事例体験時の活動	火災現場活動終了時、[防火造建物、車両]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	残火整理
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

11. 事例発生の経過。

[illegible][illegible]

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

a. あせりを感じていた

b. 注意力が欠如していた

2

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

日頃から、隊員間の意思の疎通をはかり、声掛けをするようになった

○装備・資機材の対策について

各個人に責任を持って点検させ、活用方法は適時にするよう指示をしている

○活動環境の対策について

現場活動及び訓練時に安全管理を徹底し、隊全体にけが人、負傷者を絶対に出さないよう注意している。また、自分の経験したことを部下に話をして危険予知訓練を実施している

○指揮・情報伝達の対策について